



ふじ美が原

富士見中学校

「こんな自分になりたい」「こんなことを実現したい」
自分自身の可能性を信じ、自分という存在を大切にしながら
「正しい願い」をもち、失敗を恐れず挑戦してほしい。

特集：三学期始業式

三学期 登校日数48日 スタート

三学期始業式

皆さん、あけましておめでとうございます。

Kさん、Aさん、Yさんの発表では、それぞれこれから頑張りたいことが述べられていました。聴いていた皆さんも、「自分はどうか」と考えていたことと思います。思ったことがあれば、ぜひそれを実行していきましょう。

二学期の終業式の日、私は皆さんに、次のような話をしました。

○ 自分にとつて必要だと思うこと、やった方がいいと思うこと、興味があること等を自分で考えて行動に移せるとよい。つまり、人に言われなくても自分からやってみることが大切ではないか、ということ。

○ 誰にとつてもやってくるのは一日である、その一日にやったことが積み重なっていく、今日の一日が常にこれからのスタートになる、ということ。

○ そして、過去の自分と今の自分は同じ自分ではないので、かつての自分と今の自分の違いに目を向けていこう、ということ。

○ 今日一月六日から、三月三十一日まで八十五日間あります。その一日に、自分ができていることを自分で考えてやってみましょう。少しづつ、少しづつ、皆さんは「新しい自分」になっていくと思います。

さて、一日一日を積み重ねていく上で、大切だと思うことの一つは、「願いをもつ」ということだと思いま



生徒会引継会

「正しい願い」はその逆です。つまり、他の人を大切にすることにつながる願い、そして、自分自身の可能性を信じ、自分という存在を大切にすることにつながる願い……これが「正しい願い」だと思っています。他の人と違っていることは構わないので、他の人と自分自身を大切にすること、

す。今日は、三学期、そして二〇二一年の学校生活のスタートの日です。一つの節目の日です。「こんな自分になりたい」「こんなことを実現したい」という願いをもちましょう。願いをもてたら、では、それを実現するためにどう行動するか、という方法を考え、実行していけばよいと思います。まずは、自分なりの願いをもつことが大切だと思います。

今、「自分なりの願い」と言いましたが、願いは、人と同じでなくてもよいと思えますし、人と違っていてもよいと思えてはいけません。ただし、忘れてはいけないのは、「正しい願い」をもつ、ということなのです。

「正しい願い」「正しくない願い」とはどのようなものなのか……これは皆さんにも考えてほしいことですが、私自身は次のように考えています。

「正しくない願い」というのは、「他の人を大切にしないことにつながるもの」「そして、自分自身を大切にしないことにつながるもの」だと思えます。誰かを傷つけてやるうというような願望が「正しい願い」とは全く言えないことは、皆さんにもすぐに分かると思います。また、自分自身の可能性を否定し、自分自身を粗末に扱うようなことは、私たちが抱くべき願いとしてふさわしいとは思えません。それは、「未来の自分」に対しても申し訳ないことだと思えます。

願いをもちましょう。

願いをもつて取り組んでいく中で、時には失敗をすることもあるかと思えます。しかし私は、正しい願いをもつて取り組んでいる限りは、その失敗も、大きな過ちにはならないだろうと思っています。実現を目指そうとするその姿は正しいのですから、一つのやり方がうまくいかなければ、別のやり方を考えて実行すればよいのだと思います。

今日から三学期、二〇二一年の学校生活がスタートします。ぜひ、自分の願いをもつて、その一日を過ごしていきましょう。

三学期にがんばりたいこと

一年四部 K・K

ぼくは、三学期にがんばりたいことは三つあります。

一つ目は部活動です。なぜ部活動が一番がんばりたいと思ったのかというと、今までもがんばってきたのでありますが、改善点がたくさんあり、完ぺきとはいえなかったからです。

大きな声を出す、返事をする、準備や片付けなどを完ぺきにするのが今の改善点です。このまま何も直そうとしない、来年入ってくる新入生に良い姿ではなく、良くない姿を見せてしまうことになりません。なので今の二年生のように、良い姿を見せられるように三学期では、今の改善点を直すために小さなことからコツコツとひとつひとつしっかりと見直して、確実に直せるようにがんばりたいと思います。

そしてもう一つあります。それは、自分が強くなるということです。先輩たちと戦うときに、圧倒的な差で負けてしまったり、大会で一回も勝てずに負けてし

まつたりして、すごく悔しいです。少しでも先輩たちに追いつけるように、三学期は基礎練習などで、自分の苦手なところを進んでやり、戦うときに相手の動きをよく見て戦えるようにがんばろうと思っていました。

次にぼくががんばりたいことは、授業で発言することです。進んで発言することで、学習内容がしっかり身についたり、自分の考えをみんなに知ってもらえたりすると思います。

このようなことから、ぼくが三学期にがんばりたいことは、部活動と授業です。二年生になる準備の三学期に、この二つの目標を達成できるようにがんばりたいです。

三学期の目標

二年四部 A・R

私が三学期がんばりたいことは三つあります。

一つ目は、呼びかけをすることです。授業の前の着席の呼びかけ、静かにしなければいけない場面での注意などの時に自分から気づいて、「席に座って」「静かにして下さい」など注意したいです。チャイム着席の意識が薄い人や自分のことをして授業の準備ができていない人に注意してあげれば、チャイムが鳴ると同時に授業も始められます。先生に注意されることなく、授業を気持ちよく始められるためにも呼びかけることを進んでやってみようと思います。

二つ目は、勉強です。私はあまり勉強が得意ではありません。勉強は将来にとっても役に立つと思うし、職場インタビューで職場の人が「勉強はしっかりやっておいた方がよいよ。」と言っていたのでとても大切なんだなあと思いました。私はテストで得意な教科と苦手な教科の差があるので、三学期はがんばってその差を縮め

られるように苦手な教科を特に力を入れて勉強し、点数を上げたいです。今までの反省点を三学期で改善して目標を達成できるようにしたいです。

三つ目は、部活動です。私はバレー部に所属しています。今の三年生の代でのバレー部の目標は「北信越出場」という目標のもと練習してきて県大会で一勝したものの北信越には出場できなかった悔しい結果でした。なのでその悔しさをバネに私たちの代では自分達が決めた目標に向かって練習し達成できるようにがんばりたいです。そのためにも部活をさせてもらっている上でたくさんの人への感謝を忘れず、部活での苦手なことや難しいことにどんな挑戦していつて部活を部員全員で盛り上げていきたいです。

この三つを達成できるようにしたいです。紙に書くことは誰にでもできますが、その書いたことをできたかというところが大切だと思うので、ここでいった以上は有言実行したいと思います。

三学期の目標

三年一部 Y・K

中学校生活最後の三学期、僕は頑張りたいことがたくさんあります。その中でも特に頑張りたいことが三つあります。

まず一つ目は、勉強です。僕には今、行きたい高校があります。その夢を叶えるために、勉強に力を入れていきたいです。僕は普段、勉強をしている時に、自分の得意な教科を先にやってみて、苦手な教科を後回しにして、結局やらないことが多いので、三学期には、まず、苦手



3年生から2年生へ

な教科からやって、苦手を克服して、全ての教科を得意だと言えるようにしたいです。三学年の学年目標にもある「努力夢現」を達成できるように日々努力して頑張りたいです。

二つ目は基本です。基本というのは、挨拶や給食時の身支度など、日常生活の事です。僕は、ほとんど毎日先生方に挨拶をしています。その時、

僕は「まあいいか」で終わらせてしまうことがあります。なので、三学期は、まあいいか終わらせないように意識して生活していきたいです。また、基本は挨拶や支度だけでなく、提出物なども基本だと思おうので、大切にしたいです。

三つ目は、日々の学校生活を大切にしていきたいです。三学期は、中学校生活最後の学期になります。クラスのみんなと過ごす時間や給食、学校行事など、一つ一つが最後になっていきます。なので、楽しく生活するのはもちろんですが、悔いの無いように生活していきたいです。中途半端なことをしないで、全力で物事に取り組んで行きたいと思えます。全力で取り組む事で、悔いの残らないようにできるし、日々の生活を充実した物にできると思うからです。また、僕は三年一部のルーム長でもあります。このクラスの良いところは、元気で活気のあるところだと思えます。その長所をもっと良くするために、クラス全体を引っ張ってきたいです。そして、卒業式の日に充実した中学校生活だったなと思えるようにしたいです。

以上三つの事を重点的に意識して残りの学校生活を楽しく、そして悔いの無いように送っていききたいです。

ソニー 優秀校受賞



新年あけましておめでとうございいます。新型コロナウイルスの影響で、例年と比べ、家庭の中で静かに、穏やかな年末年始を過ごしたご家庭が多かったことと拝察致します。

冬休み中に事故もなく、初日の朝、元気に登校するみなさんの姿を見ることができたことを嬉しく思います。このことは、生徒たちの健康面に心配りして下さった、ご家族の皆様のご協力のおかげと感謝申し上げます。

学校はいよいよ今年度最後の学期である、四八日間の三学期が始まりました。始業式は感染予防のため放送室からテレビ放送で各教室に配信しました。

二〇二二年に暦が変わってもコロナ収束の兆しは見えませんが、学校でもできる限りの感染予防に努める中で、授業を進め、行事に関してもできるような工夫し、卒業式や終業式を迎えたいと思えます。保護者の皆様のご協力を重ねてお願い致します。

富士見町立富士見中学校

諏訪郡富士見町富士見四六五四番地

TEL 〇二六六(六二)二〇〇九

担当 油井 彰